

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州環境フェアの開催
事業主体 (連絡先)	南信州環境フェア実行委員会 (0265-53-7100)
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,024,535 円 (うち支援金: 3,200,000 円)

事業内容

「仕事、暮らし、地域がにぎわう環境先進地・南信州」を目指して、ゼロカーボン活動推進見本市「南信州環境メッセ2021」を初開催

日時 令和3年12月4～5日 (2日間)

会場 エス・バード (飯田市座光寺) 来場者 1,344名

内容 開催記念シンポジウム、ブース出展 (企業、環境活動団体、高校、行政等 計50団体)、各種体験講座、環境映画上映、アトラクション 他

その他 シンポジウム、ブース紹介のオンライン配信 (4日のみ)



【見本市 (屋内会場) の様子】

【目標・ねらい】

- ①ゼロカーボン社会の実現に向けた協働取組と普及啓発
- ②環境をテーマとした地域経済と連携した見本市の開催
- ③出展募集により多様な主体が集うポストコロナ型イベント実施

事業効果

①会場の屋内外に様々なブースが出展され、出展者、来場者間の情報交換の場となった。また、シンポジウムや子ども向けの体験講座など、幅広い世代を対象に環境の関心を高める機会にできた。

②商工会議所や金融機関の後援や協力も受けながら、出展募集を行い、開催趣旨に賛同いただいた企業 (30社) に出展、参加してもらうことができた。

③NPOや環境活動団体以外に、管内の3つの高校の生徒がブース出展やシンポジウムでのパネリスト出演、オンライン配信のレポーター役などで活躍した。コロナ感染対策についてはイベント事業者も使って、受付や会場レイアウトなどに予防策を講じて開催できた。

※自己評価【A】

【理由】

初開催だったが、出展募集を行って、企業や学生を含め様々な主体の参画により実施することができた。来場者も目標を上まわり、オンライン配信の視聴もあり、開催趣旨も周知することができた。

今後の取り組み

初開催の反省と課題点を改善して、次年度以降も継続的に開催が出来るように実行委員会の体制も強化して開催を検討していく。今年度はコロナ禍という事を配慮して、出展募集は基本的に南信州圏域をエリアとしたが、今後はエリアを拡大し、出展者も来場者の増加を目指し、リニア・三遠南信時代に県外からも訪れる機会のひとつとなるよう内容を充実させ、ゼロカーボン活動を推進して「環境先進地・南信州」を目指していく。